

学年:	2年生	Stage:	Stage II	コード:	O2202	単位:	1.7
モジュール名	口腔解剖学			科目担当責任者	天野 カオリ		
モジュール名(英字)	Oral and Clinical Anatomy			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標(GIO)	Stage IIの口腔解剖学講義内容は、Stage IVの口腔解剖学実習に先がけて頭頸部と顎顔面領域について学ぶ内容で構成されています。頭頸部領域解剖学の知識を習得する事が最大の目標です。またCBTや歯科医師国家試験問題は本ステージ領域の内容が中心となるため、頭蓋骨モデル標本を使用する演習と、ヒト頭蓋骨標本を使用する骨学実習も含まれています。頭蓋部と顎顔面部骨格構成に始まり、脳神経12対が通過する孔について、頭頸部顎顔面領域を栄養する血管系、眼窩や鼻腔と副鼻腔の構造と位置関係、側頭骨内部の構造や側頭窩の構造、顎関節の構造、咀嚼筋の位置関係(起始部・停止部)、口腔内臓は口腔区分、舌筋の構造と機能と支配神経、口蓋の構造と口蓋筋の機能と支配神経、大唾液腺と唾液腺管構造と開口部位、神経支配について学びます。また近年歯科医師国家試験とCBTに出題頻度が高い舌骨下筋群/上筋群の構造・位置関係・神経支配、咽頭と喉頭の構造・位置関係と機能などが講義内容に含まれます。歯科医師国家試験における必修科目であると同時に口腔解剖学領域の中では習得すべき最重要領域であることを常に意識しながら学習を遂行してください。引き続き講義の流れによってはシラバスに掲載されている内容とは異なる場合もあることを念頭に置いて受講して下さい。全身解剖学と同様に講義時使用するパワーポイント資料には解剖写真が多く含まれますので、本講義時内容に関する写真撮影ならびに動画の撮影は一切禁止とします。講義中に撮影したり、SNS上に投稿した等を確認した場合は処分の対象となります。						
ユニット:一般目標	1. 頭頸部顎顔面領域の構造と機能 頭頸部顎顔面領域構造と口腔領域構造と機能について習得します。加えて脳神経12対の機能詳細について頭蓋と交通する孔と脳神経が関わる疾患についての理解習得を目指しています。 2. 頭蓋骨モデルを使用する演習/ヒト頭蓋骨を使用する骨学実習 頭蓋骨モデルを使用し三次元的に構造を理解する事を目的としています。CBTや国家試験に頻繁に出題される頭蓋骨顎顔面領域構造について演習とヒト頭蓋骨標本を使用する骨学実習を通じてより深い理解習得を目指しています。						

#### 教育目標

ディプロマポリシー	DPI-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー—CP	CP3
	a / - / b	- / - / -	a / - / a		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 口腔解剖学第3版/ 脳田 稔, 井出 吉信監修/ 医歯薬出版  
 教 2/ プラスチック頭蓋骨モデル / パース  
 教 3/ 解剖学カラーアトラス第9版/ 横地, Rohen著/ 医学書院  
 参 1/ 口腔顎顔面解剖ノート/ 井出 吉信監修/ 学建書院  
 参 2/ 口腔の機能と解剖/ 田畑 純, 角田 佳折/ 南山堂

#### 評価方法

出 欠 席	口腔解剖学講義(Stage II)は原則全出席してください、やむを得ず欠席した場合は必ずオンデマンド講義を利用して履修してください。						
モジュール試験(%)	80	全範囲に関する内容をマークシート形式で行います。					
アクティビティ(%)	20	頭蓋骨モデルを使用する演習とヒト頭蓋骨を使用する骨学実習への参加を含める総合点をアクティビティ評価とします。					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
			20				
再試験の評価方法	全講義の内容を基本としたモジュール評価						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	非該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_001_6/4_1限	2026/06/04	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	脳頭蓋					
授業目標	1) 頭蓋骨の構成と構造を理解する。 2) 脳頭蓋の構造を理解する。 3) 縫合について理解する。					
キーワード	頭蓋冠(前頭骨・頭頂骨・側頭骨・後頭骨)、脳頭蓋、縫合					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_002_6/4_2限	2026/06/04	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	顔面頭蓋					
授業目標	1) 顔面頭蓋の構成と構造を理解する。 2) 頭蓋底の構成と構造を理解する。 3) 対骨と無対骨について理解する。					
キーワード	顔面頭蓋、蝶形骨、篩骨、口蓋骨、涙骨、頬骨、鼻骨、上顎骨、下顎骨、鋤骨、舌骨、鼻腔、副鼻腔(前頭洞・篩骨洞・蝶形骨洞・上顎洞)と上/中/下鼻道、上/中鼻甲介、下鼻甲介、半月裂孔					
担当	天野 カオリ,光家由紀子					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_003_6/4_3限	2026/06/04	3		演習	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭蓋骨モデル実習1					
授業目標	1) 頭蓋骨の構成と構造を理解する。 2) 内頭蓋底と脳が位置する区分/脳神経が通過する孔について理解する。 3) 外頭蓋底と脳神経が通過する孔について理解する。					
キーワード	頭蓋骨、脳頭蓋、顔面頭蓋、前頭骨(前頭洞)、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、蝶形骨(蝶形骨洞・翼状突起外側板・内側板・翼突窩)、頬骨、篩骨(篩骨洞・篩骨篩板)、鼻骨、涙骨、鋤骨、上顎骨(上顎洞)、下顎骨(筋突起・関節突起・翼突筋窩・下顎孔・オトガイ孔)、上・中・下鼻甲介、口蓋骨(切歯孔・大口蓋孔・小口蓋孔)、頭蓋冠(冠状縫合・矢状縫合・人字縫合)、内頭蓋底、外頭蓋底、視神経管、上眼窩裂、下眼窩裂、鼻涙管、眼窩下孔、正円孔、卵円孔、棘孔、外耳孔、内耳孔、頸動脈管、頸静脈孔、舌下神経管、大・小口蓋孔、トルコ鞍(下垂体窩)、頸動脈管、大後頭孔、茎乳突起、茎状突起					
担当	天野 カオリ,光家 由紀子					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-5,A-3-2-6					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_004_6/4_4限	2026/06/04	4		演習	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					

サブユニット	特別講義
授業目標	
キーワード	
担当	犬童寛子,天野 カオリ,光家 由紀子
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-5,A-3-2-6
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_005_6/11_1限	2026/06/11	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭部の筋					
授業目標	1) 顔面筋(皮筋)の構造と機能/ 支配神経について理解する。 2) SMAS(浅層筋の腱筋膜構造)について理解する。					
キーワード	前頭筋、眼輪筋、頬筋、笑筋、大・小頬骨筋、上唇挙筋、下唇下制筋、オトガイ筋、口輪筋、広頸筋、顔面神経末梢枝					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_006_6/11_2限	2026/06/11	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頸部の筋					
授業目標	1) 舌骨上筋群の位置・構造と機能について理解する。 2) 舌骨上筋群を支配する神経について理解する。 3) 舌骨下筋群の位置・構造と機能を理解する。 4) 舌骨下筋群を支配する神経について理解する。 5) 舌骨上・下筋群の嚥下時の働きについて理解する。					
キーワード	舌骨上筋群(顎二腹筋前腹・後腹、顎舌骨筋、茎突舌骨筋、オトガイ舌骨筋)、下顎神経、顔面神経、舌下神経、舌骨下筋群(胸骨舌骨筋、肩甲舌骨筋、胸骨甲状筋、甲状舌骨筋)、頸神経ワナ					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-3,A-3-2-4,A-3-2-6					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_007_6/11_3限	2026/06/11	3		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	顎関節					
授業目標	1) 顎関節の構造と機能を理解する。 2) 側頭骨と構成する関節部の位置関係と構造や靭帯について理解する。					
キーワード	下顎頭、関節円板、関節腔、関節突起、下顎窩、関節結節、側頭骨、蝶下顎靭帯、翼突下顎靭帯、					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					

コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-6,A-3-2-8
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_008_6/11_4限	2026/06/11	4		演習	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭蓋骨モデル実習3(咀嚼筋・顎関節)					
授業目標	1) 咀嚼筋の構造と起始部/停止部・機能について理解する。 2) 顎関節の構造と機能を理解する。					
キーワード	咬筋、側頭筋、内側翼突筋、外側翼突筋、側頭窩、下顎骨(筋突起/関節突起、翼突筋窩)、蝶形骨(翼突窩/翼状突起外側板、翼突筋粗面)関節円板、関節腔、関節突起、下顎窩、関節結節					
担当	天野 カオリ,光家 由紀子					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-3,A-3-2-4,A-3-2-6					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_009_6/18_1限	2026/06/18	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭頸部の動脈系					
授業目標	1) 頸動脈鞘の構造について理解する。 2) 総頸動脈の位置と分岐について理解する。 3) 外頸動脈の分岐・分布を理解する。 4) 外頸動脈の2終枝と分布について理解する。					
キーワード	頸動脈鞘(総頸動脈・内頸静脈・迷走神経)、総頸動脈、外頸動脈、上甲状腺動脈、舌動脈、顔面動脈、後頭動脈、上行咽頭動脈、後耳介動脈、顎動(中硬膜動脈・深側頭動脈・咬筋枝・翼突筋枝・蝶口蓋動脈・眼窩下動脈・後上歯槽動脈・頬動脈・下歯槽動脈)、浅側頭動脈					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-1,A-3-2-5,A-3-2-10,A-3-2-11,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-14,A-3-2-15,A-3-2-16					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_010_6/18_2限	2026/06/18	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭頸部の静脈系・リンパ					
授業目標	1) 頭頸部の静脈系とリンパの構造を理解する。 2) 翼突筋静脈叢について理解する。					
キーワード	内頸静脈、翼突筋静脈叢、浅頭リンパ節、深頭リンパ節					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_011_6/18_3限	2026/06/18	3		講義	31番教室	60

ユニット	口腔解剖
サブユニット	三叉神経(上顎神経/第Ⅴ脳神経V2)
授業目標	1) 上顎神経の分岐・走行分布を理解する。 2) 上顎神経の機能を理解する。 3) 翼口蓋神経節を理解する。
キーワード	後上歯槽枝、中上歯槽枝、前上歯槽枝、翼口蓋神経(翼口蓋神経節/眼高枝・後鼻枝・鼻口蓋神経・大小口蓋神経)、頬骨神経、眼窩下神経
担当	天野 カオリ
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料
コアカリ(令和4年)	A-3-2-6,A-3-2-7
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_012_6/18_4限	2026/06/18	4		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	三叉神経(下顎神経/第Ⅴ脳神経V3)					
授業目標	1) 下顎神経の分岐・走行分布を理解する。 2) 下顎神経の機能を理解する。 3) 鰓弓神経について理解する。					
キーワード	深側頭神経、口蓋帆張筋枝、外/内翼突筋枝、頬神経、硬膜枝、咬筋枝、鼓膜張筋枝、耳介側頭神経、舌神経、下歯槽神経、顎舌骨筋神経、耳神経節、第一鰓弓					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-6					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_013_6/25_1限	2026/06/25	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	顔面神経(第Ⅶ脳神経)					
授業目標	1) 顔面神経の分岐・走行分布を理解する。 2) 顔面神経の機能を理解する。 3) 中枢性顔面神経麻痺と末梢性顔面神経麻痺の違いを理解する。 4) 鰓弓神経について理解する。 5) 舌前部味覚の支配について理解する。 6) 顎下腺・舌下腺の分泌について理解する。					
キーワード	内耳孔、側頭骨/顔面神経管、大錐体神経、アブミ骨筋神経、鼓索神経、耳下腺神経叢(側頭枝・頬骨枝・頬筋枝・下顎縁枝・頸枝)、第二鰓弓					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-3,A-3-2-6,A-3-3-7					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_014_6/25_2限	2026/06/25	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	舌咽神経・迷走神経・副神経・舌下神経					

授業目標	1) 舌咽神経の分岐・走行分布領域と機能を理解する。 2) 迷走神経の分岐・走行分布領域と機能を理解する。 3) 舌下神経の分岐・走行分布と機能を理解する。 4) 鰓弓神経について理解する。
キーワード	舌咽神経(頸動脈洞枝・頸動脈小体、茎突咽頭筋、耳下腺、舌根部知覚・味覚、嘔吐反射、第三鰓弓)、迷走神経(胸腹部臓器、反回神経・下喉頭神経・後輪状披裂筋・横斜披裂筋・甲状披裂筋、上喉頭神経・輪状甲状筋、カーテン微侯)、咽頭神経叢(上・中・下咽頭収縮筋、第四～六鰓弓)、舌下神経(内舌筋、上・下縦舌筋、垂直舌筋、横舌筋)、外舌筋オトガイ舌筋、茎突舌筋、舌骨舌筋、オトガイ舌骨筋)
担当	天野 カオリ
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料
コアカリ(令和4年)	A-3-2-6,A-3-2-7,A-3-2-9,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-14,A-3-3-3,A-3-3-7,A-3-3-9
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_015_6/25_3限	2026/06/25	3		演習	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	舌咽神経・迷走神経・副神経・舌下神経					
授業目標	1) 舌咽神経の分岐・走行分布領域と機能を理解する。 2) 迷走神経の分岐・走行分布領域と機能を理解する。 3) 舌下神経の分岐・走行分布と機能を理解する。 4) 鰓弓神経について理解する。					
キーワード	舌咽神経(頸動脈洞枝・頸動脈小体、茎突咽頭筋、耳下腺、舌根部知覚・味覚、嘔吐反射、第三鰓弓)、迷走神経(胸腹部臓器、反回神経・下喉頭神経・後輪状披裂筋・横斜披裂筋・甲状披裂筋、上喉頭神経・輪状甲状筋、カーテン微侯)、咽頭神経叢(上・中・下咽頭収縮筋、第四～六鰓弓)、舌下神経(内舌筋、上・下縦舌筋、垂直舌筋、横舌筋)、外舌筋オトガイ舌筋、茎突舌筋、舌骨舌筋、オトガイ舌骨筋)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-6,A-3-2-7,A-3-2-11,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-14,A-3-2-15,A-3-3-3,A-3-3-7					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_016_6/25_4限	2026/06/25	4		演習	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	眼窩に関わる神経・血管系 鼻腔・副鼻腔に関わる神経					
授業目標	1)眼窩内を走行する神経(自律神経も含む)について理解する。 2)眼球を動かす筋群に分布する神経を理解する。 3)鼻腔と鼻道について理解する。 4)鼻腔に分布する血管系について理解する。 5)副鼻腔について理解する。 6)副鼻腔炎について理解する。					
キーワード	眼窩を構成する骨7つ、動眼神経、滑車神経、三叉神経(眼神経・上顎神経)、外転神経、上鼻道・中鼻道・下鼻道、キーゼルパツハ部位、前頭洞、篩骨洞、蝶形骨洞、上顎洞、上顎洞炎、内頸動脈(前・後篩骨動脈)、顔面動脈、蝶口蓋動脈					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-5,A-3-2-6,A-3-3-8,A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_017_7/2_1限	2026/07/02	1		講義	31番教室	60

ユニット	口腔解剖
サブユニット	頭頸部の消化器系1
授業目標	1) 舌の構造・機能・支配神経を理解する。 2) 舌乳頭と味覚について理解する。 3) 口腔と口蓋の構造・機能・支配神経を理解する。 4) 唾液腺の構造・機能・発生を理解する。 5) 大唾液腺管と開口部位について理解する。
キーワード	外舌筋(オトガイ舌筋・茎突舌筋・舌骨舌筋)、内舌筋(上/下縦舌筋・垂直舌筋・横舌筋)、舌下神経、舌盲孔、甲状舌管、分界溝、有郭乳頭、茸状乳頭、糸状乳頭、葉状乳頭、舌前2/3部位の味覚/鼓索神経(顔面神経)・舌後1/3部位の味覚(舌咽神経)・咽頭部の味覚(迷走神経)、口腔前庭、固有口腔、口蓋(軟口蓋・硬口蓋)、口蓋筋群(口蓋帆挙筋・口蓋帆張筋・口蓋垂筋・口蓋舌筋)、咽頭神経叢、下顎神経、口唇、耳下腺、顎下腺、舌下腺、小唾液腺、耳下腺管(ステンセン管)、耳下腺乳頭/頰筋貫通部、顎下腺管(ワルトン管)、舌下腺管(バルトリン管)、舌下小丘、外胚葉、内胚葉、舌咽神経、顔面神経
担当	天野 カオリ
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料
コアカリ(令和4年)	A-3-2-6,A-3-2-14,A-3-3-3
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-ア

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_018_7/2_2限	2026/07/02	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	鰓弓・咽頭嚢					
授業目標	1)鰓弓・咽頭嚢について理解する。 2)鰓弓由来器官について理解する。 3)鰓弓由来軟骨について理解する。					
キーワード	第一鰓弓/下顎神経(咀嚼筋/顎二腹筋前腹/顎舌骨筋/鼓膜張筋/口蓋帆張筋)、第二鰓弓/顔面神経(表情筋/アブミ骨筋/茎突舌骨/顎二腹筋後腹)、第三鰓弓/舌咽神経(茎突舌骨筋)、第四鰓弓/迷走神経・上喉頭神経(咽頭収縮筋・口蓋舌筋・口蓋帆挙筋・輪状甲状筋)、第六鰓弓/迷走神経・下喉頭神経(後輪状披裂筋・外側輪状披裂筋・甲状披裂筋・横披裂筋・斜披裂筋)、鰓弓軟骨(第一鰓弓/メッケル軟骨・ツチ骨・キヌタ骨・前下顎韌帯・前ツチ骨韌帯、第二鰓弓/アブミ骨・茎状突起・茎突舌骨韌帯・舌骨小角、第三鰓弓/舌骨大角、第四鰓弓/甲状軟骨、第六鰓弓/輪状軟骨・披裂軟骨)、咽頭嚢(第一咽頭嚢/中耳・耳管、第二咽頭嚢/口蓋扁桃、第三咽頭嚢/胸腺・下上皮小体、第四咽頭嚢/上上皮小体)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-6,A-3-2-7,A-3-3-7					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-ア					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_019_7/2_3限	2026/07/02	3		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭頸部の呼吸器系					
授業目標	1)鼻腔の構造・機能を理解する。 2)副鼻腔の構造・機能を理解する。 3)口腔と咽頭の構造・機能を理解する。					
キーワード	鼻腔(上鼻道・中鼻道・下鼻道)、副鼻腔(前頭洞・蝶形骨洞・篩骨洞・上顎洞)、三叉神経、喉頭を構成する軟骨、喉頭の筋群(輪状甲状筋・後輪状披裂筋・外側輪状披裂筋・甲状披裂筋・横披裂筋・斜披裂筋)迷走神経、反回神経、咽頭の構造と咽頭収縮筋(上・中・下咽頭収縮筋・咽頭縫線・咽頭結節)、茎突咽頭筋、舌咽神経、咽頭神経叢					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-5,A-3-2-6,A-3-2-14,A-3-3-8,A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-ア					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O2202_020_7/2_4限	2026/07/02	4		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	AR/VR口腔解剖学					
授業目標	1) 顎顔面領域の解剖学的構造を三次元的に理解する。					
キーワード	AR、VR					
担当	板宮 朋基					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-4-Ⅰ-b,総論Ⅱ-4-Ⅰ-a,総論Ⅱ-4-Ⅰ-c,総論Ⅱ-4-Ⅰ-a,総論Ⅱ-4-Ⅰ-b,総論Ⅱ-4-Ⅰ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_021_7/9_1限	2026/07/09	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭蓋骨モデル実習2					
授業目標	1) 頭蓋骨の構成と構造を理解する。 2) 内頭蓋底と脳が位置する区分/脳神経が通過する孔について理解する。 3) 外頭蓋底と脳神経が通過する孔について理解する。					
キーワード	頭蓋骨、脳頭蓋、顔面頭蓋、前頭骨、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、内頭蓋底、外頭蓋底、篩骨篩板、視神経管、上眼窩裂、下眼窩裂、正円孔、卵円孔、棘孔、内耳孔、頸静脈孔、舌下神経管、破裂孔、大・小口蓋孔、トルコ鞍(下垂体窩)、頸動脈管、大後頭孔、茎乳突孔					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,各論Ⅰ-5-Ⅰ,各論Ⅰ-6-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_022_7/9_2限	2026/07/09	2		演習	31番教室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭蓋骨モデル実習3					
授業目標	1) 咀嚼筋の構造と起始・停止について理解する。 2) 顎関節の構造について理解する。					
キーワード	第一鰓弓/下顎神経(咀嚼筋/顎二腹筋前腹/顎舌骨筋/鼓膜張筋/口蓋帆張筋)、第二鰓弓/顔面神経(表情筋/アブミ骨筋/茎突舌骨/顎二腹筋後腹)、第三鰓弓/舌咽神経(茎突舌骨筋)、第四鰓弓/迷走神経・上喉頭神経(咽頭収縮筋/口蓋舌筋・口蓋帆挙筋・輪状甲状筋)、第六鰓弓/迷走神経・下喉頭神経(後輪状披裂筋・外側輪状披裂筋・甲状披裂筋・横披裂筋・斜披裂筋)、鰓弓軟骨(第一鰓弓/メツケル軟骨・ツチ骨・キヌタ骨・前下顎韧带・前ツチ骨韧带、第二鰓弓/アブミ骨・茎状突起・茎突舌骨韧带・舌骨小角、第三鰓弓/舌骨大角、第四鰓弓/甲状軟骨、第六鰓弓/輪状軟骨・披裂軟骨)、咽頭嚢(第一咽頭嚢/中耳・耳管、第二咽頭嚢/口蓋扁桃、第三咽頭嚢/胸腺・下上皮小体、第四咽頭嚢/上上皮小体)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料 ・事後学修:講義内容と資料					
コアカリ(令和4年)	A-2-1-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,各論Ⅰ-5-Ⅰ,各論Ⅰ-6-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_023_7/9_3限	2026/07/09	3		実習	解剖実習室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭頸部骨学実習					
授業目標	頭頸顔面部について人体骨(頭蓋骨・顔面骨)標本を使用して観察/習得する。					

キーワード	頭蓋冠、頭蓋骨、脳頭蓋、顔面頭蓋、前頭骨、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、内頭蓋底、外頭蓋底、蝶形骨、篩骨、鼻骨、涙骨、頬骨、上顎骨、下顎骨、鋤骨、上/中鼻甲介、下鼻甲介、舌骨、前頭洞、篩骨洞、蝶形骨洞、上顎洞、篩骨師板、視神経管、上眼窩裂、下眼窩裂、正円孔、卵円孔、棘孔、内耳孔、舌下神経管、頭静脈孔、大後頭孔、茎状突起、乳様突起、茎乳突孔、頸動脈管、舌下神経管、破裂孔、大・小口蓋孔、トルコ鞍(下垂体窩)、頸動脈管、大後頭孔、茎乳突孔、咽頭結節、眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔、下顎孔
担当	天野 カオリ,小口 岳史,光家 由紀子
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料やこれまでの講義内容 ・事後学修:講義内容と配布資料
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-2-4,A-3-1-5-1,A-3-2-6,A-3-2-8,A-3-3-8
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-ア,総論Ⅱ-4-キ-a,総論Ⅱ-4-キ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O2202_024_7/9_4限	2026/07/09	4		実習	解剖実習室	60
ユニット	口腔解剖					
サブユニット	頭頸部骨学実習					
授業目標	頭頸顔面部について人体骨(頭蓋骨・顔面骨)標本を使用して観察/習得する。					
キーワード	頭蓋冠、頭蓋骨、脳頭蓋、顔面頭蓋、前頭骨、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、内頭蓋底、外頭蓋底、蝶形骨、篩骨、鼻骨、涙骨、頬骨、上顎骨、下顎骨、鋤骨、上/中鼻甲介、下鼻甲介、舌骨、前頭洞、篩骨洞、蝶形骨洞、上顎洞、篩骨師板、視神経管、上眼窩裂、下眼窩裂、正円孔、卵円孔、棘孔、内耳孔、舌下神経管、頭静脈孔、頸動脈管、茎状突起、乳様突起、茎乳突孔、大後頭孔、舌下神経管、破裂孔、大・小口蓋孔、トルコ鞍(下垂体窩)、頸動脈管、大後頭孔、茎乳突孔、咽頭結節、眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔、下顎孔					
担当	天野 カオリ,小口 岳史,光家 由紀子					
学修範囲(事前事後学修)	・事前学修:講義資料やこれまでの講義内容 ・事後学修:講義内容と配布資料					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-2-4,A-3-1-5-1,A-3-2-6,A-3-2-8,A-3-3-8					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b,総論Ⅱ-4-ア,総論Ⅱ-4-キ-a,総論Ⅱ-4-キ-b					